

気候変動による様々な影響に対する国としての取り組みを取りまとめた「気候変動の影響への適応計画」(平成27年11月27日閣議決定)では、我が国で懸念される様々な分野での気候変動の影響が示されました。

それらの影響は、兵庫県で生活するわたしたちにもかかってきます。

## 農業、森林・林業、水産業への影響

- ・高温による米の品質低下(一等米比率の低下等)
- ・高温による果樹の生育障害や栽培適地の北上
- ・高温による牛、豚及び鶏の成育の低下
- ・海水温の変化による南方系の魚の増加や北方系の魚の減少
- ・秋季の高水温による養殖ノリの種付け時期の遅れ
- ・海洋酸性化による貝類などの水生生物への影響 等



## 水環境・水資源、自然生態系への影響

- ・水温の上昇に伴う水質等の変化
- ・雨が降らない日の増加による渇水の深刻化
- ・気温上昇による農業用水の需要への影響
- ・気候の変動による種の分布域の変化
- ・気温上昇によるソメイヨシノ等の植物開花の早まり 等

## 自然災害・沿岸域への影響

- ・大雨の増加による洪水氾濫発生の増加
- ・集中豪雨の増加による浸水被害の拡大
- ・集中豪雨の増加による土砂災害の頻発化
- ・海面上昇による高潮のリスクの増大
- ・気候変動による強風や強い台風の増加 等



## 健康、産業・経済活動、国民生活・都市生活への影響

- ・気温上昇による熱中症リスクの増大
- ・豪雨による地下浸水、停電、及び地下鉄への影響
- ・ヒートアイランド現象との重なりによる都市域での大幅な気温上昇 等

暑くなるだけでなく、  
いろんな影響が  
出てくるんだね。



兵庫県マスコット  
はばたん

## 温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を減らす!

温暖化の影響の程度は、全世界の一人ひとりがどれだけ温室効果ガスの排出を抑えるかにかかっています。このため、省エネや節電の徹底、再生可能エネルギーの導入、緑化の推進など、これまで取り組んできた「緩和策」をより一層進めていかなければなりません。

## 温暖化の影響を理解し、その影響に備える!

温暖化による影響が現れてくる中で、どのような分野にどのような影響が現れるかを知り、その影響に備え、リスクを減らすための「適応策」にも取り組むことが必要です。



みんなで一緒に  
取り組もう!

兵庫県マスコット  
はばたん

## 温暖化からひょうごを守る適応策

温暖化の影響からひょうごを守るために、県民の皆様と一緒に「適応策」に取り組みます!

国の適応計画は策定されましたが、地球温暖化の影響は地域によって様々であり、全国一律の取組だけでは不十分です。

兵庫県は、地域特有の影響へ対応するため、県内地域の数十年先を見据えた県独自の「適応策」を進めていきます。

### 「適応策基本方針」※(平成29年3月策定)

気候変動の将来予測、各分野への影響予測等から県として取り組むべき適応策の方向性について示します。

※「兵庫県地球温暖化対策推進計画」(平成29年3月策定)に「温暖化からひょうごを守る適応策基本方針」として位置付け

### 「適応計画」策定に向けて(平成29年度~)

各分野への影響予測の評価、将来に向けての課題抽出等から計画的に進めていくべき適応策を検討します。

取組例

### 農業への影響について

兵庫県立農林水産技術総合センター  
農業技術センター

稲は元来高温に強い作物ですが、近年は高温により品質が低下する事例(乳白粒、基部未熟粒、胴割れ等)が散見されます。

この問題に対してお米の実る時期に、肥料を追加することで品質低下が防げることが分かりました。中でも穂揃い期の肥料の追加が、食味を維持し、品質改善に有効なことが分かりました。

#### ●品質低下事例



乳白



胴割れ

取組例

### 水産業への影響について

兵庫県立農林水産技術総合センター  
水産技術センター

気候変動等による水温の変化は、水産業にも大きな影響を及ぼしています。近年、瀬戸内海では、秋冬期の水温低下が緩やかになり、ノリ養殖に適した期間が短くなる傾向がみられています。この対応として、高水温に適した品種の改良等、新たな養殖技術の導入が検討されています。

一方、日本海では暖水性種のサワラが東シナ海から来遊するようになり、日本海での漁獲量が急増しています。新たな水産資源として、生態の解明を通じた資源の管理や新たな利用加工技術の開発が進められているところです。



日本海(但馬)で漁獲されたサワラ